

福 山 市

2022 年度

金江藤江5号線・ゼロ市債

広島県福山市 藤江 町 地内

道路舗装 工事実施設計書

工事概要

工事延長	L=52.0m
舗装幅員	W=2.6m
アスファルト舗装工	
表層	A=135m <sup>2</sup>
不陸整正	A=135m <sup>2</sup>

# 特記仕様書

1. 本特記仕様書に記載のない事項については、「福山市工事請負契約約款（契約書を含む）」、「設計図書（別冊図面、仕様書）」、「福山市建設工事執行規則」、「福山市工事検査技術基準」、「広島県制定土木構造物標準設計図集」、「令和4年度 広島県土木工事共通仕様書（広島県）」、その他関係規則によるものとする。
2. 工事実施にあたっては、関係機関との協議を十分に行い、また、地域の地元関係者等周辺を利用する市民への周知徹底を図り、かつ円滑に交通を確保し、混乱のないように実施すること。工事期間はバリケード等により周辺民家の出入り及び、歩行者通路の確保を行うこと。工事車両等の作業にあたっては、誘導等を行い事故防止につとめること。また、やむをえず通行止めをする場合は事前に通知等をおこない、理解と協力を得なければならない。
3. 本工事において疑義が生じた場合は、その都度速やかに、その指定した職員（以下「監督員」という。）と協議すること。チェック表「該当」欄に○印がある事項については、工事施工にあたって制約等を受けることとなるので明示する。なお、明示内容に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が生じた時は、監督員と協議し適切な措置を講じるものとする。

## チェック表

項目	事項	該当	内容
工程	関連する別途工事あり		工事 : _____ 工期 : _____
	施工時期・時間に制限あり		時期 : _____ 時間 : _____
	関連機関への手続きあり	○	施工にあたり、日本国の関係諸法令・諸官公庁の通達、工事施工に関する協定事項等を遵守し、諸官公署への届出及び許可等の手続きを速やかに行い、監督員に報告すること。
	工期	○	本工事の工期は、工事検査期間として14日間を見込んでいる。
	工程表	○	契約締結後14日以内に工程表を提出するものとする。
	工事着手	○	受注者は、工事開始日以降30日以内に工事着手しなければならない。
	工事着手（特別な事情あり）		本工事は管理者との協議により、年（令和年）月日から年（令和年）月日の間、本体工事及び仮設工事の施工をしてはならない。受注者は、この期間終了日の翌日から30日以内に工事着手しなければならない。
現場体制	名札の着用	○	受注者は、工事現場内において、監理技術者、主任技術者（下請人を含む）に工事名、工期、写真、所属会社名及び証明印の入った名札（図1）を着用するものとする。
	工事標示板	○	図2を標準様式とする。ただし、これにより難しい場合は監督員と協議するものとする。
	現場代理人の兼任		本工事の現場代理人については、福山市建設工事執行規則第19条第3項又は福山市建設工事請負契約約款第10条第3項の規定にかかわらず、他の工事との兼任を認めないものとする。
安全対策	交通誘導員について	○	本工事における交通誘導員の積上げ人数は、交通誘導の対象となる施工量に対し、作業日当り標準作業量から必要な人数を見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き、施工実績等による交通誘導員の積上げ人数の増員に対する変更は行わない。また、工事実績の交通誘導員が減となった場合は、実績数量により変更を行う。ただし、交通誘導員の対象となる施工量に増減等が生じた場合にはこの限りではない。
	特別な交通安全対策が必要		施設等

項目	事項	該当	内容
建設副産物	建設発生土の処分あり		当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとする。 また、搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。 なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）への搬出が困難となった場合は、発注者と受注者が協議するものとする。
	建設廃棄物の処分あり	○	As 殻 無筋 Co 殻 有筋 Co 殻 その他（ ） 受入条件：平日の受入費を見込んでいる。
建設機械	排出ガス対策型建設機械の指定あり	○	土木工事共通仕様書（令和3年度広島県）「1-1-1-30 環境対策」で使用を義務付けている排出ガス対策型建設機械においては、第2次基準値以上の建設機械の使用に努めること。 なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。
埋戻材について	流用土		当該工事に使用する埋戻材は流用土を使用するものとする。使用にあたっては、次のとおりとする。 品質基準 「道路土工指針」盛土材の基準に適合するもの。
	建設発生土リサイクルプラントが製造した処理土		(1)当該工事に使用する購入土は、建設発生土処分先一覧表に掲載された建設発生土リサイクルプラントが製造した処理土（改良土を含む。）を使用するものとする。積算にあたっては、運搬費と処理土購入費（工場渡し）の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き購入土に要する費用（単価）は変更しない。 (2)(1)により使用することとしている処理土について、何らかの事情によりその使用が困難である場合は、設計図書の内容について監督員と協議すること。 (3)使用する処理土がセメント及びセメント系固化材を使用した改良土の場合、「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」に基づき、建設発生土リサイクルプラントから試験結果の提示を受けるとともに、施工後に六価クロム溶出試験を実施し、試験結果（計量証明書）を提出するものとする。
	購入土（新材料）		新材料を使用する場合は、採取場所、砕石（採取）業者、試験業者、試験日を明記した試験結果報告書を提出するものとする。 新材料の購入土砂を見込んでいるが、建設発生土処分先一覧表に掲載された建設発生土リサイクルプラントが製造した処理土（改良土を含む。）を使用することが可能である場合は、その使用に努めるものとする。 ただし、使用する処理土がセメント及びセメント系固化材を使用した改良土の場合、「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」に基づき、建設発生土リサイクルプラントから試験結果の提示を受けるとともに、施工後に六価クロム溶出試験を実施し、試験結果（計量証明書）を提出するものとする。積算にあたっては、購入土に要する費用が最も経済的になるものを見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き購入土に要する費用（単価）は変更しない。
工事材料について	再生材について	○	(1)当該工事に使用する再生材料については、設計図書に明記する。 (2)再生材の確保が困難な場合は、監督員と協議すること。 当該工事に使用する材料について、表1に該当するものは再生材を使用するものとする。
工事成績評定について	成績評定について		請負金額が3,500万円未満の平成30年7月豪雨に伴う災害復旧工事については、原則、工事成績評定の対象外とする。ただし、請負金額が500万円以上の工事で、契約後速やかに、当該工事の成績評定を希望する旨を記載した工事打合せ簿を提出した場合は、工事成績評定の対象とする。

<p>現場管理費の補正について</p>	<p>熱中症対策に資する現場管理費の補正について</p>	<p>○</p>	<p>本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。</p> <p>1 工期（工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日及び後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間13日間、年末年始6日間（12月29日～1月3日）、夏季休暇3日間（国民の祝日である山の日次の日から土曜日、日曜日及び振替休日を除く3日間とする。）、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。）期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。</p> <p>2 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が25度以上の日をいう。ただし、夜間工事の場合は、作業時間帯の最高気温又は最高暑さ指数（WBGT）を対象とする。</p> <p>3 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温又は環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。          なお、本工事において、上記地上観測所及び観測地点は、「福山」とすることを標準とする。</p> <p>4 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督員に提出すること。</p> <p>5 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督員と協議するものとする。</p> <p>6 積算方法は次のとおりとする。</p> <p>（1）補正方法</p> <p>ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。ただし、現場管理費率の補正は、「積算寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本通知の補正値を合計し、2%を上限とする。</p> <p>イ 真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期</p> <p>ウ 補正値（%）＝真夏日率×1.2</p> <p>（2）補正値の計算結果は、パーセント表示で少数点3位を四捨五入して2位止めとする。</p> <p>7 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることが出来る。</p> <p>8 検査員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。</p>
<p>事前測量について</p>	<p>・縦断図 ・横断図</p>	<p>○</p>	<p>受注者は工事実施にあたり、現地測量を行い、管理測点での計画幅員及び計画高を検討し、監督員と協議するものとする。</p>
<p>感染防止対策</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策</p>	<p>○</p>	<p>1 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、次のとおり実施に努めること。</p> <p>（1）「3つの密を避けるための手引き」の活用          各現場に配布し工事等の関係者に周知を図るとともに、作業所等で掲示を行う。          ・<a href="https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html#kokumin">https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html#kokumin</a></p> <p>（2）「建設現場の「三つの密」の回避等に向けた取組事例」の活用          各現場に配布し始業前の朝礼やKY活動等において工事等の関係者に周知を図る。          ※各現場での対策事例については、TwitterやFacebook等のSNS活用により普及・展開に努めてください。</p> <p>例）「#建設現場の3密対策」を付けたツイートが行われるよう同ハッシュタグを周知する等</p> <p>2 上述の1を参考に、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を実施することにより追加費用が発生する場合は、実施計画書（様式1）により監督員と事前に協議を行い、必要と認められる対策については変更施工計画書（変更業務計画書）を提出する。          なお、必要と認められる対策については、設計変更の対象とする。</p> <p>3 最終精算変更時点においては、実際に履行したことがわかる全ての証明書類（領収書の写し、領収書の出ないものは金額の妥当性を証明する書類等）及び実績報告書（様式2）を監督員に提出する。</p> <p>4 受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合については、法的措置及び指名除外等の措置を行う場合がある。</p> <p>5 疑義が生じた場合は、監督員と協議すること。</p>
<p>工事の積算について</p>	<p>1日未満で完了する作業の積算について</p>	<p>○</p>	<p>1 受注者は、施工実施にあたり施工パッケージ型積算基準と乖離がある場合は、1日未満で完了する作業の積算（以下、「1日未満積算基準」という。）の適用を発注者に請求できる。</p> <p>2 受注者は、協議にあたって、1日未満積算基準に該当することを示す書面、その他協議に必要な根拠資料（日報、実際の費用がわかる資料等）を提出すること。</p>

<p>施工条件</p>	<p>仮設工について</p>	<p>1. 指定仮設            内容：〇〇工            理由：(例)河川管理者(広島県東部建設事務所管理課)及び地権者と事前協議の結果、仮設道の位置等が決定されているため上記工種は指定仮設とし、設計図書に定める方法により難い場合は、監督員と注者が協議するものとする。</p> <p>2. 任意仮設            ・本工事に伴う以下の内容の仮設工は、積算用参考図に見込んでいる。なお積算用参考図は任意仮設の積算内容を示したものであり、工事目的物を完成させるための一切の手段については、受注者の責任において定めるものとする。</p> <p>内容：〇〇工</p>
<p>情報共有システムの利用</p>	<p>3500万円以上の工事</p>	<p>1 本工事は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。</p> <p>2 本工事で使用する情報共有システムは次とする。            広島県工事中情報共有システム <a href="http://www.hdobokuk.or.jp/koujijyouhoushisutemu2.html">http://www.hdobokuk.or.jp/koujijyouhoushisutemu2.html</a></p> <p>3 受注者は、情報共有システムの利用対象としないことを希望する場合は、契約後すみやかに発注者にその旨を協議し、承諾を得ること。</p> <p>4 受注者は、情報共有システムの利用に当たり、(一社)広島県土木協会に利用申込みを行い、利用料を支払うものとする。</p> <p>5 受注者は、情報共有システムの利用にあたり、情報共有システム利用手引に基づき運用すること。</p>
<p>ゼロ市債</p>	<p>請負代金の支払いについて</p>	<p>○</p> <p>1. 本工事における請負代金の支払いについて            ・本工事において、各会計年度における請負代金の支払い限度額は次のとおりとする。            2022年度(令和4年度) 金0円            翌年度(令和5年度) 全額            前金払について、請負代金額の10分の4の金額を2023年度(令和5年度)に全額を支払うものとする。            発注者は、予算上の都合その他の必要があるときは、上記の支払い限度額を変更することができる。</p> <p>・部分払いを請求できる回数は次のとおりとする。            2022年度(令和4年度) 0回            翌年度(令和5年度) 福山市契約規則第15条で定めた回数</p>

写真 2cm * 3cm 程度	監理(主任)技術者 名前 ○○ ○○ ○○○○工事 工期 自○○○○年○○月○○日 至○○○○年○○月○○日 ◇◇建設株式会社	印
-----------------------	--	---

監理技術者・主任技術者どちらか  
用紙の大きさは、名刺サイズ以上

所属会社の社印とする

図1 【名札の例】

青地に 白抜き	<b>ご協力をお願いします</b>		何の工事を何の目的で実施しているかをわかりやすく示す「工事内容」を表示する
	<b>○○○○○○を なおしています</b>		
青字	○○年○月○日まで <b>時間帯</b> ○○:○○~○○:○○		「工事期間」は、一目でわかるように、終了日のみを表示し、枠組みや大きな文字で強調する
青地に 白抜き	<b>○○○○工事</b>		工事内容を簡潔に説明した「工事種別」を表示する
黒字	発注者 福山市長 枝広 直幹(○○課) 電話 ○○○-○○○○ 施工者 ○○建設株式会社 電話 ○○○-○○○○		

図2 【工事標示板の例】

看板の寸法は、縦 140~200cm, 横 114~200cm とする。

表 1 工事使用材料

資材名	名称及び規格	使用箇所	品質基準
土砂	処理土・改良土	盛土材, 埋戻材	共通仕様書 土壌の汚染に係る環境基準 発生土利用マニュアル 道路土工指針 建設汚泥リサイクル指針 広島県道路事業設計要領
			に定める基準によるものとする。
砂	再生砂 (RS)	遮断層, 埋戻材(良質土のない場合), 軟弱地盤の置換材及び凍上抑制層など	広島県土木工事共通仕様書による
碎石	再生クラッシャーラン(RC40, 30)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・埋戻材及び置換材</li> <li>・コンクリートブロック積み, 側溝及び擁壁等の構造物の基礎</li> <li>・コンクリートブロック積み, 側溝及び擁壁等の構造物の裏込め材</li> <li>・仮設道路の敷砂利</li> <li>・下層路盤</li> </ul>	//
	再生粒度調整碎石 (RM30, 40)	上層路盤	//
アスファルト合材	再生細粒度アスコン 再生密粒度アスコン (骨材最大粒径は 20mm 又は 13mm)	車道・路肩・歩道及び仮設道路などの表層	//
	再生粗粒度アスコン (骨材の最大粒径 20mm)	中間層及び基層	//
	再生アスファルト安定処理	アスファルト安定処理で行う上層路盤工	//

# 総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日  諸経費体系	0 70 福山市 00-05.02.01(0)  1 公共(一般)	凡例 Co … コンクリート      As … アスファルト DT … ダンプトラック      BH … バックホウ CC … クローラクレーン      TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン
	当世代	前世代
工種 施工地域・工事場所区分 復興補正区分 週休補正区分 現場事務所等の貸与区分 ICT補正区分 冬期補正係数 緊急工事区分 前払金支出割合区分 契約保証区分	06 舗装工事 04 一般交通影響有り(2) 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0% 00 補正無し 03 補正しない	
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		



# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
舗装					Y1E02 レベル1
構造物撤去工	1	式			Y1E0201 レベル2
構造物取壊し工	1	式			Y1E020101 レベル3
舗装版破碎 【土質,施工方法,押土の有無】 【障害の有無,施工数量】	1	式			Y1E02010101 レベル4
舗装版破碎積込(小規模土工)					SPK22040018 00
殻運搬 【土質】	135	m2			単第0 -0001 表 Y1E02010102 レベル4
殻運搬 舗装版破碎 DID区間有り 運搬距離8.0km以下(6.5km超)	7	m3			SPK22040142 00 単第0 -0002 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
処分費 AS殻					W0001
	16	t			
舗装工					Y1E0204 レベル2
	1	式			
舗装準備工					Y1E020401 レベル3
	1	式			
不陸整正 【補足材有無,補足材種類・規格】 【補足材整正厚】					Y1E02040101 レベル4
		m2			
不陸整正 補足材料無し					SPK22040225 00
	135	m2			単第0 -0003 表
アスファルト舗装工					Y1E020404 レベル3
	1	式			
表層(車道・路肩部) 【材料種類,材料規格,舗装厚,平均幅員】					Y1E02040409 レベル4
		m2			
表層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m以上3.0m以下 1層当り平均仕上厚50mm					SPK22040235 00
	135	m2			単第0 -0004 表
仮設工					Y1E0215 レベル2
	1	式			

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
交通管理工					Y1E021521 レベル3
	1	式			
交通誘導警備員					Y1E02152101 レベル4
		人			
交通誘導警備員B					R0369 00
	9	人			
** 直接工事費 ** #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
** 工事原価 **					
一般管理费率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...
一般管理費計					
** 工事価格 **					
** 消費税相当額 ** 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事費計 **					

図面番号	1 / 2	縮尺	S=1:10,000
工種	道路舗装工事		
種別	位置図	番号	
路線名	金江藤江5号線・ゼロ市債		
業務委託箇所	福山市藤江町地内		
<b>福山市松永建設産業課</b>			

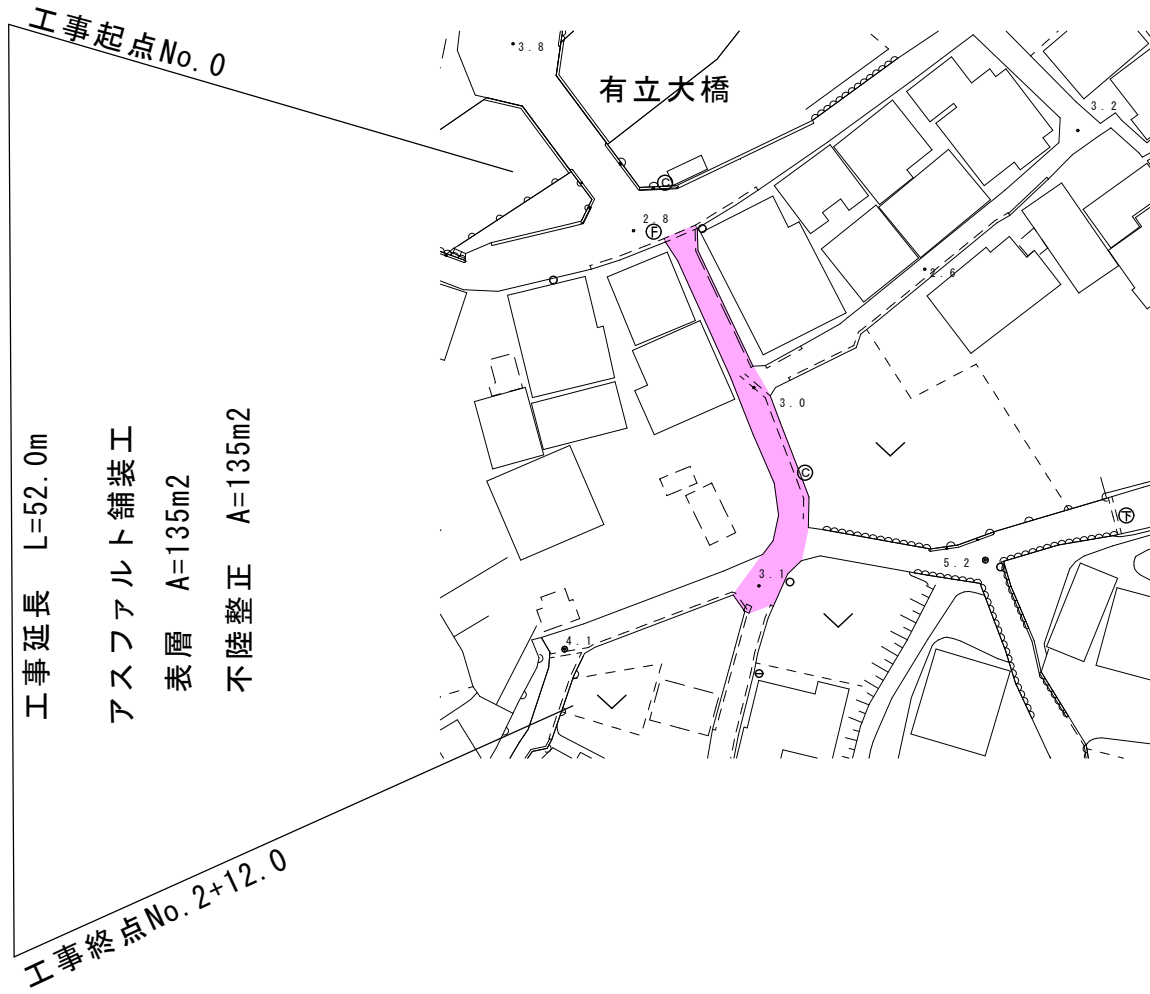
設計年月 2023年2月



図面番号	2 / 2	縮尺	図 示
工 種	道路舗装工事		
種 別	平面図	番号	
路線名 河川名	金江藤江5号線・ゼロ市債		
工事箇所	福山市 藤江町 地内		
福山市松永建設産業課			

設計年月：2023年2月

平面図  
S=1/1000



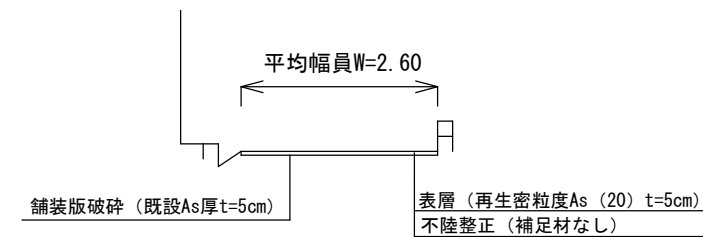
工事延長 L=52.0m  
アスファルト舗装工  
表層 A=135m<sup>2</sup>  
不陸整正 A=135m<sup>2</sup>

横断面図  
S=1:100

工事終点 No. 2+12.0  
同 断

L=52.0m

工事起点 No. 0



数量表

- 表層 A=2.6\*52.0=135.2≒135m<sup>2</sup>
- 不陸整正 A=2.6\*52.0=135.2≒135m<sup>2</sup>
- 舗装版破碎 A=2.6\*52.0=135.2≒135m<sup>2</sup>
- 殻運搬 V=135.2\*0.05=6.76≒7m<sup>3</sup>
- 処分費 (As殻) 6.76\*2.35=15.9≒16t

以下参考図書

# 施工単価表

舗装版破碎積込(小規模土工)

SPK22040018

単第0 -0001 表

機械構成比: 22.76% 労務構成比: 69.45% 材料構成比: 7.79% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,541.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3	22.76%		小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3		MTPC00077 MTPT00077
運転手(特殊)	69.45%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	7.79%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 -(全ての費用)					



# 施工単価表

頁0 -0007

殻運搬

舗装版破碎

機械構成比:

19.63%

労務構成比:

DID区間有り 運搬距離8.0km以下(6.5km超)

71.11%

材料構成比:

9.26%

市場単価構成比:

0.00%

単第0 -0002 表

標準単価: 1

m3 当り

5,567.30000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	19.63%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	71.11%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	9.26%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 舗装版破碎 C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=4 機械積込(小規模土工) D=35 運搬距離8.0km以下(6.5km超)		

# 施工単価表

不陸整正  
補足材料無し  
機械構成比:

SPK22040225

単第0 -0003 表

1  
標準単価: 113.44000  
m2 当り

25.46% 労務構成比: 67.79% 材料構成比: 6.75% 市場単価構成比: 0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m	12.56%		モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m		MTPC00134 MTPT00134
ロードローラ マタダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m	9.73%		ロードローラ マタダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m		MTPC00135 MTPT00135
<賃>タイヤローラ 質量8~20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	3.17%		タイヤローラ 質量8~20t		KTPC00007 KTPT00007
運転手(特殊)	42.97%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	13.06%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	9.52%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	2.24%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	6.75%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001



# 施工単価表

表層(車道・路肩部)  
平均幅員1.4m以上3.0m以下

SPK22040235

単第0 -0004 表

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.94% 労務構成比: 15.24%

材料構成比: 82.82%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,603.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅1.4~3.0m 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.24%		アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅1.4~3.0m		KTPC00059 KTPT00059
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3~4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.25%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3~4t		KTPC00009 KTPT00009
<賃>タイヤローラ 質量3~4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.23%		タイヤローラ 質量3~4t		KTPC00057 KTPT00057
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	5.18%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	3.55%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	3.54%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	1.22%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

# 施工単価表

表層(車道・路肩部)  
平均幅員1.4m以上3.0m以下

SPK22040235

単第0 -0004 表

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.94% 労務構成比: 15.24%

材料構成比: 82.82%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,603.40000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(20)	75.33%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPCD0038 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	7.19%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.27%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=3 平均幅員1.4m以上3.0m以下 C=6 再生密粒度アスファルト混合物(20) G=2 小型車割増有 I=1 -(全ての費用)			B=50 1層当り平均仕上り厚(mm) E=2 PK-3 H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					